

2023年度 上級生アンケート 集計結果【国際教養学部】

このアンケートは、2年生～3年生の上級生を対象に「どのような意欲を持っているか」及び「何を身につけたか」、「どのようなスタンスで学修し、どの程度学修に時間を割いているか」を問うものです。

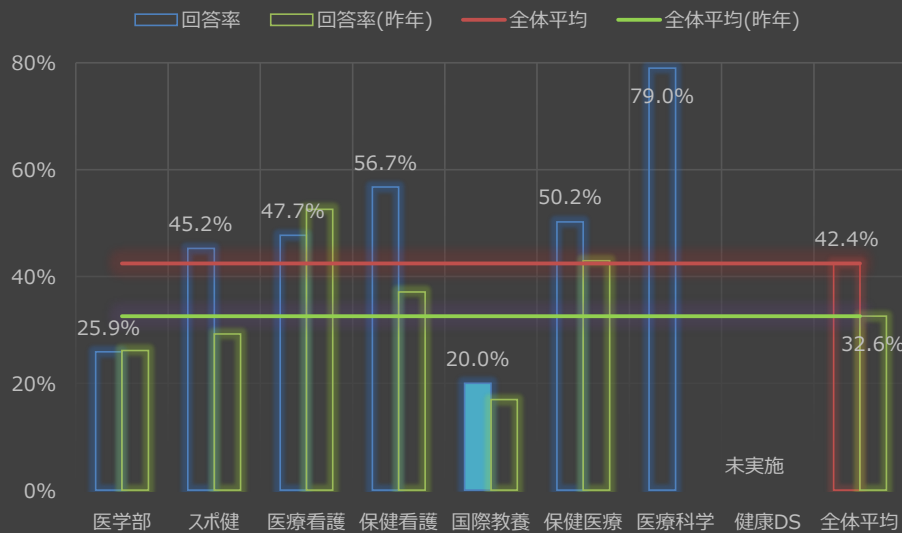
●実施期間：2023年5月25日～2023年6月17日

■ 回答率

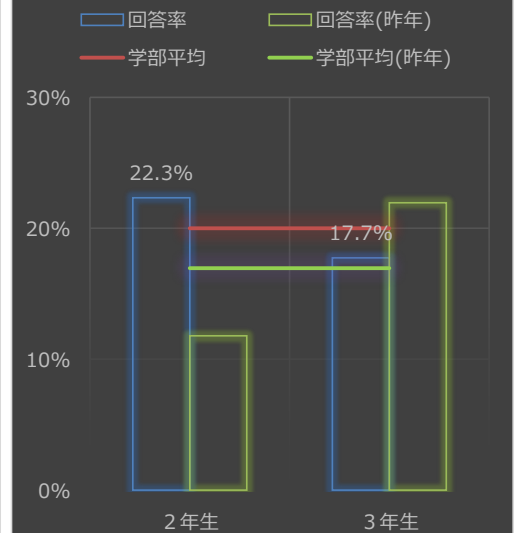
上級生アンケート	今年度						昨年度			
	回答率	(昨年比)	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
医学部	25.87%	(-0.26%)	141名	(-3名)	407名	545名	(-6名)	26.13%	144名	551名
スポーツ健康科学部	45.22%	(+15.99%)	549名	(+250名)	665名	1214名	(+191名)	29.23%	299名	1023名
医療看護学部	47.70%	(-4.88%)	197名	(-17名)	216名	413名	(+6名)	52.58%	214名	407名
保健看護学部	56.75%	(+19.65%)	143名	(+51名)	109名	252名	(+4名)	37.10%	92名	248名
国際教養学部	20.00%	(+3.05%)	91名	(+12名)	364名	455名	(-11名)	16.95%	79名	466名
保健医療学部	50.21%	(+7.29%)	241名	(+35名)	239名	480名	(±0名)	42.92%	206名	480名
医療科学部	79.01%	—	143名	—	38名	181名	—	—	—	—
健康データサイエンス学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
★全学部合計(平均)	42.43%	(+9.87%)	1505名	(+328名)	2038名	3547名	(+190名)	32.56%	1034名	3176名

国際教養学部 (学年別)	今年度						昨年度			
	回答率	(昨年比)	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
2年生	22.32%	(+10.53%)	50名	(+23名)	174名	224名	(-5名)	11.79%	27名	229名
3年生	17.75%	(-4.19%)	41名	(-11名)	190名	231名	(-6名)	21.94%	52名	237名
★全学部合計(平均)	20.00%	(+3.05%)	91名	(+12名)	364名	455名	(-11名)	16.95%	79名	466名

2023年度 上級生アンケート 集計結果【全学部】



国際教養学部 (学年別)

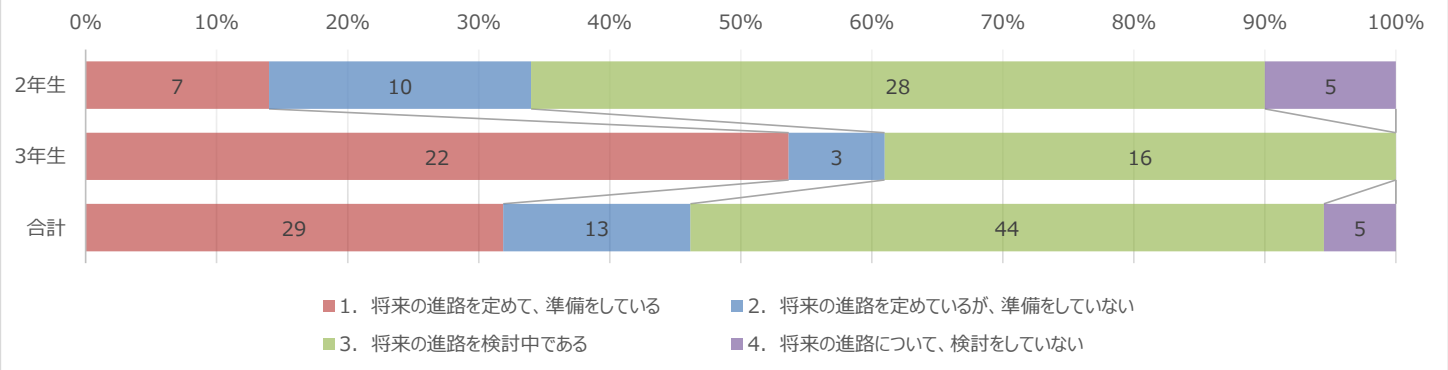


■ アンケート結果

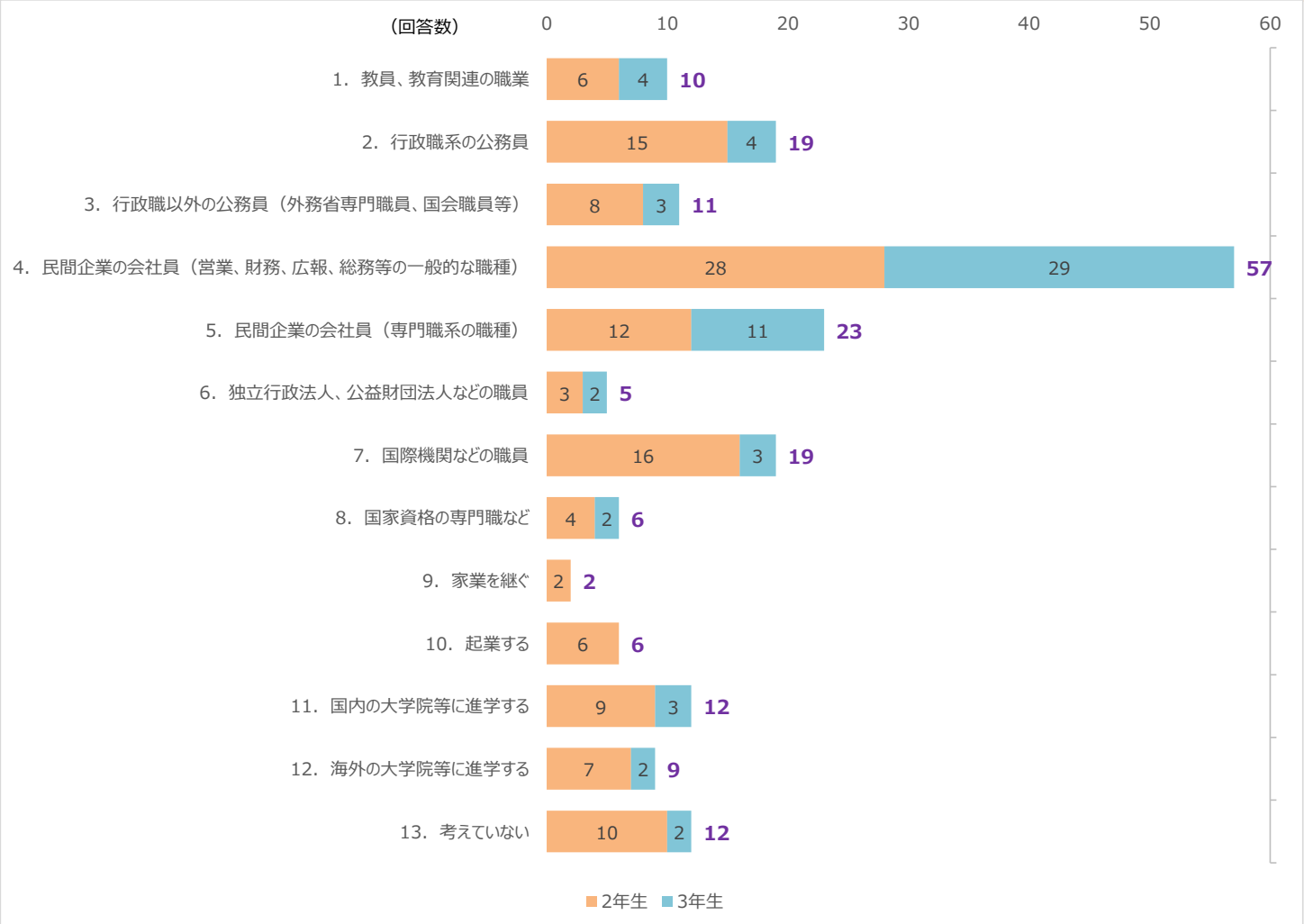
※グラフ中の数値は回答数

【1. 意欲に関する設問】

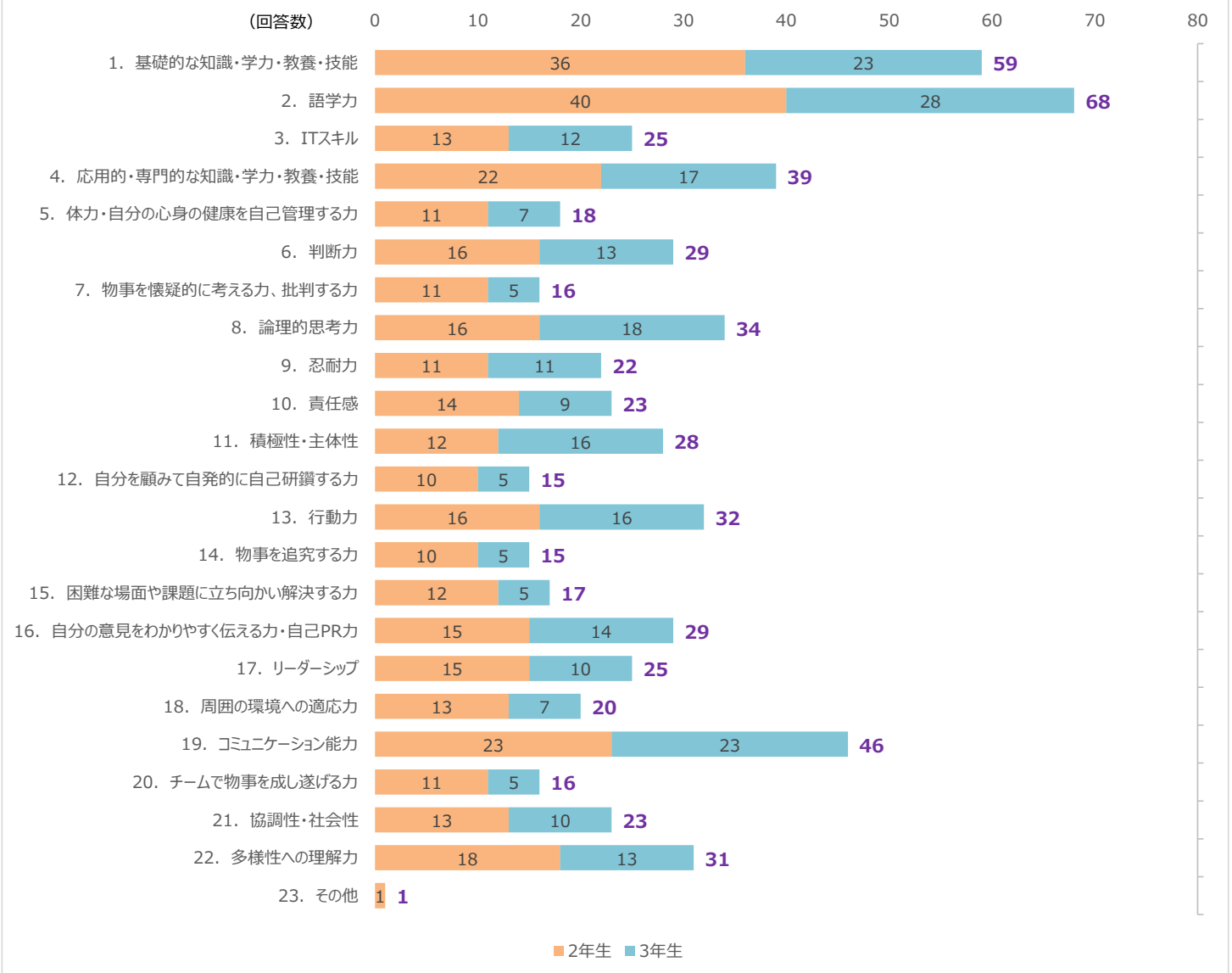
設問1-1. 将来の進路を見据えて、準備をしていますか。



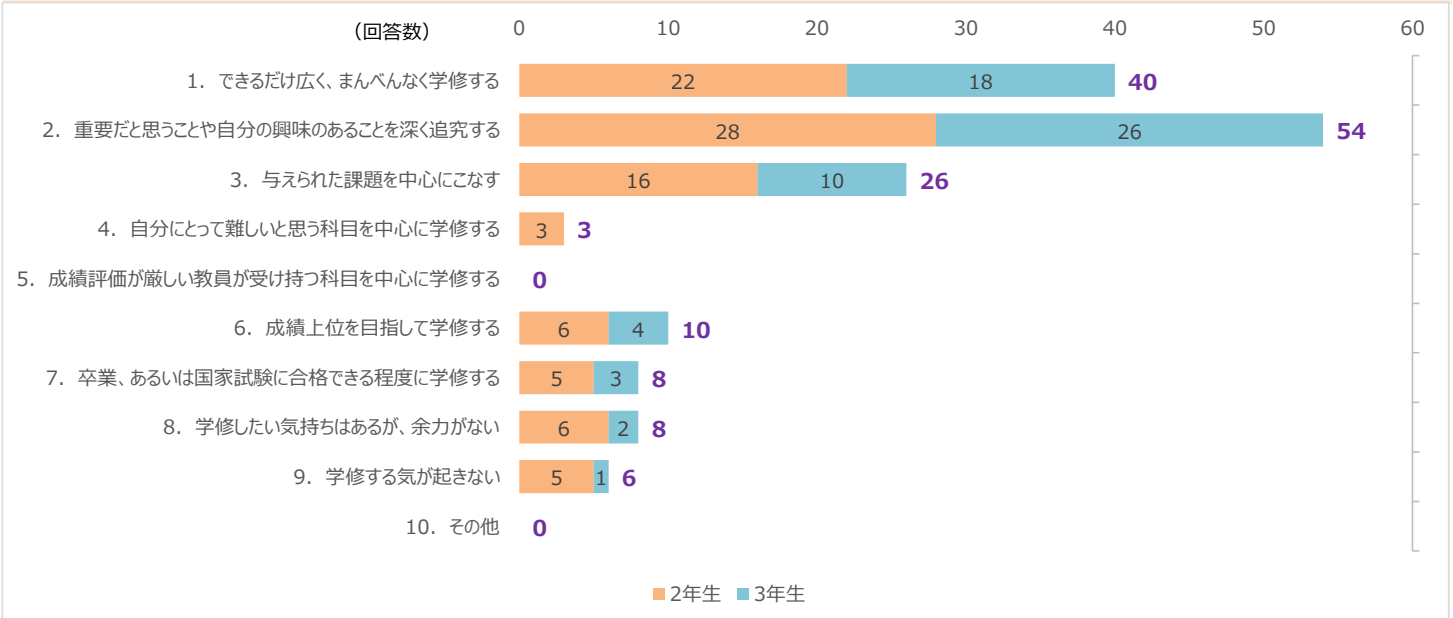
設問1-2. 将来どのような進路に進みたいですか。(複数選択可)



設問1-3. 今後の大学生活で身につけたい力は何ですか。(複数選択可)



設問1-4. 現在の、学修に対するスタンス(姿勢)として(複数選択可)

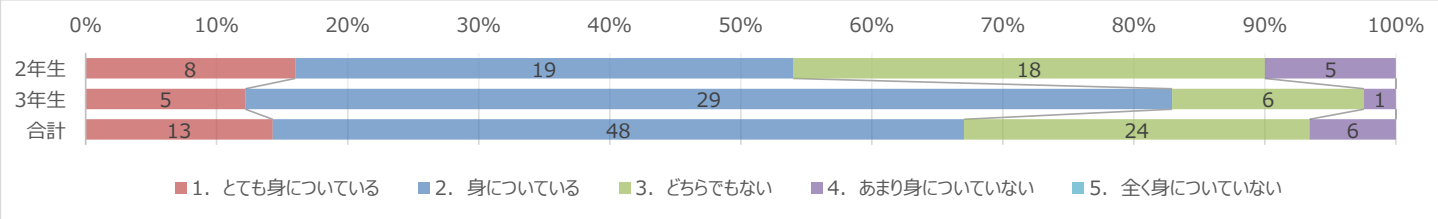


【2. 成長の実感に関する設問】

設問2-1. 以下は、国際教養学部の特長・ポリシーです。それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

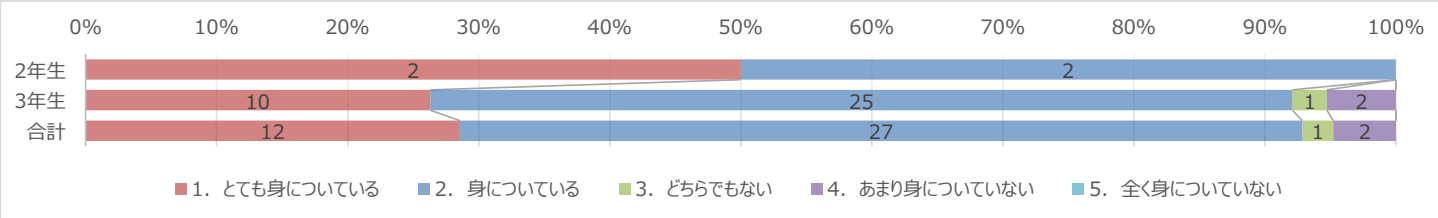
<全年度入学者共通>

①グローバルが進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力



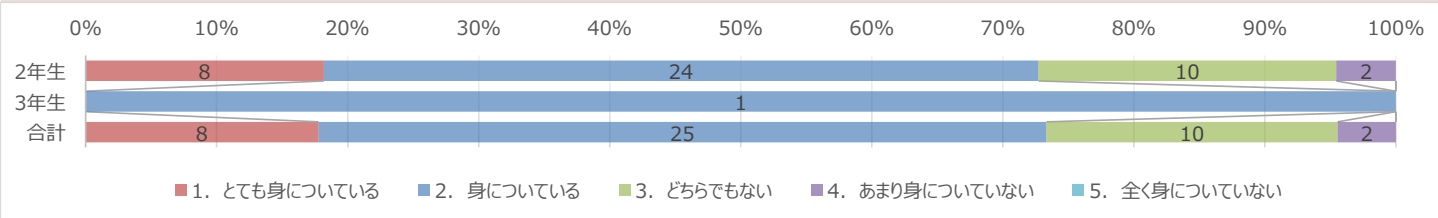
<2021年度以前入学者>

②自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



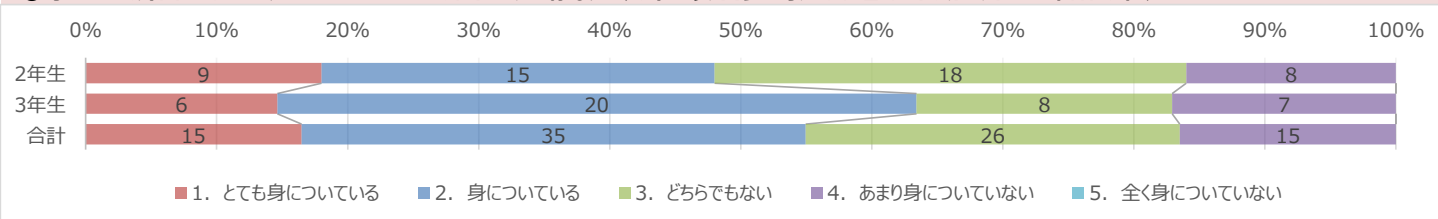
<2022年度以降入学者>

②自分とは異なる人間や文化を理解する心を滋養し、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



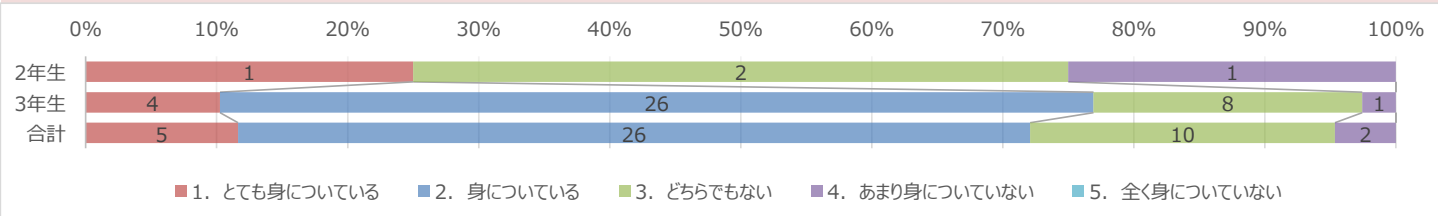
<全年度入学者共通>

③母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力



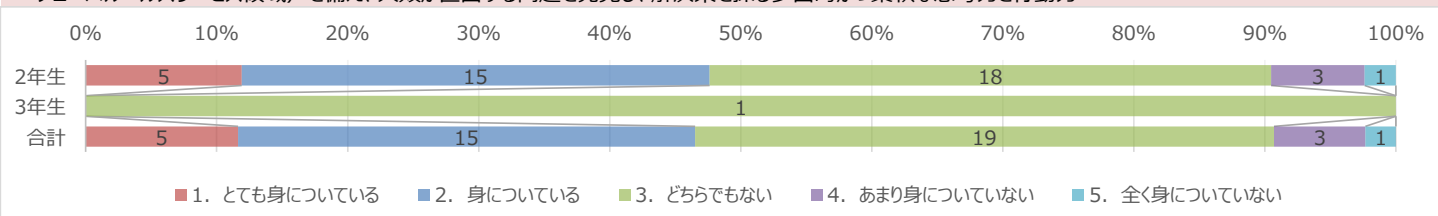
<2021年度以前入学者>

④グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力



<2022年度以降入学者>

④グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化の違いを超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力



【3. 学修時間に関する設問】

設問3-1. それぞれの学修時間に関する設問に対して、当てはまるものを選択してください。

